

第1回北栄町隣保館運営審議会・児童館運営委員会

日時 令和6年5月27日（月）
午後1時30分～午後2時30分
会場 ほくほくプラザ
（北栄人権文化センター）

日程

1 開会

2 あいさつ

3 審議会・委員会の成立について

4 協議・報告事項

（1）令和5年度事業実施状況について・・・P3

（ア） 隣保館事業

（イ） 児童館事業

（ウ） その他（共通項目含む）

（2）令和6年度事業計画について・・・P21

（ア） 隣保館事業

（イ） 児童館事業

（3）その他

5 その他

6 閉会

北栄町隣保館運営審議会・児童館運営委員会 委員名簿

(敬称略)

	役 職	氏 名	備 考
1	自治会長会代表	中口 義和	
2	大野自治会長	山根 ひろ子	会長
3	東亀谷自治会長	助谷 真登	
4	小学校代表 ・大栄小学校校長	小田 信之	
5	中学校代表 ・北条中学校校長	萬 章夫	
6	北栄町幼児教育研究会会長	松本 八千代	
7	小学校PTA代表 ・北条小学校PTA代表	田中 世都子	
8	中学校PTA代表 ・大栄中学校PTA代表	永見 直樹	
9	民生児童委員代表	遠藤 万里子	副会長
10	北栄町社会福祉協議会代表	前田 悦子	
11	一般公募	杉川 恵美子	

任期 令和5年4月1日～令和7年3月31日まで

事 務 局

1	教育長	笠見 隆志
2	生涯学習課 課長	渡辺 健二
3	ほくほくプラザ（北栄人権文化センター）館長	中江 人美
4	生涯学習課 人権教育推進室 室長	米塚 浩二
5	生涯学習課 人権教育推進室 主事	永井 秀和
6	生涯学習課 人権教育推進室 人権教育推進員	堀江 純子

北栄町隣保館運営審議会・児童館運営委員会とは・・・

ほくほくプラザの持つ隣保館機能(※1)及び児童館機能(※2)が充分に発揮され、その適正な運営を図ることを目的に設置されています。

※1 地域社会全体の中で、福祉の向上や人権啓発の住民交流の拠点施設

※2 子どもの心身の健やかな成長、発達及び自立が図られることを地域社会の中で具現化する施設

(1) 令和5年度事業実施状況

(ア) 隣保館事業

令和5年度隣保館事業実施状況

・研修・学習・会議

実施日	事業名	事業内容	対象者	参加者	昨年度
4月18日	大栄中学校1年生人権学習	人権啓発の拠点としての役割	大栄中1年生	56	-
11月24日	北条中学校1年生人権学習	人権啓発の拠点としての役割	北条中1年生	82	63
2月20日	大栄小学校3年生校外学習	ほくほくプラザの役割と活動	大栄小3年生	61	72

・定期開催事業

199 135

実施日	事業名	事業内容	対象者	参加者	昨年度
第2.4土曜日	各種教室〈習字教室〉	小・中学生は学年ごと、大人は個人に合わせて字を書く。24回開催	小中学生と大人	384	413
第2日曜日	絵本の読み聞かせ会	絵本読み聞かせ。12回開催	幼児とその保護者	449	307
第3金曜日	おしゃべりサロン	軽食・場所を提供。12回開催	主に高齢者	87	46
随時	相談事業	各種相談	主に地域住民	86	56

1006 822

・広報事業

実施日	事業名	事業内容	対象者	
最終木曜日	ほくほくプラザだより	広報紙発行。全戸配布	北栄町内全戸	

令和5年度 分かりやすいじんけんの話（講演会）

実施日	回	テーマ	講師	対象	参加者
内 容					
6月9日	第1回	高齢者の人権	鳥取県人権文化センター 専任研究員 中尾 和則さん	一般	44
「超高齢社会の人権尊重～ともに生きる地域をめざして～」と題し、超高齢社会の現状、高齢者に関するさまざまな人権、そして例題を交えながら地域の見守りや認知症に関することとお話されました。高齢者だから認知症だからと蚊帳の外にせず本人の意思を尊重し、共に歩いていくことの大切さなどを学びました。					
7月30日	第2回	同和問題 (トーク&コンサート)	ヒューマンバンド「熱と光」宮崎 保さん	一般	76
「ちょっと心を かしてくれませんか」と題して、自身や周りの体験談からたくさんの人権問題が今もなお存在していること、そして人は不思議と奇跡と偶然で出会っているのになぜ差別が起こるのか、差別を受けたりどんなに辛いことがあっても生きぬけという強いメッセージを弾き語りとともにお話されました。人と人との縁の大事さ、差別の醜さを学びました。					
9月22日 11月22日 →中止	第3回	性的マイノリティの人権	にじいろi-Ru 田中 一歩さん・近藤 孝子さん	一般	97
「じぶん、まる！ひとりじゃないよ。じぶんでいいよ。～性の多様性から『じぶん』について考える～」と題して、私たちの周りには“多様な性”があることとお話されました。当たり前という中で育っている子どもたちが「当たり前ってなんだろう？」「自分はどうかろう？」と考えるきっかけを与え、セクシュアリティを理由に自分や友達を否定しないことを伝えられました。					
10月13日	第4回	外国人の人権	鳥取県国際交流財団 国際交流コーディネーター 羅房 捷美さん	一般	42
「台湾からこの土地に来て～私が伝えたいこと、あなたがきること～」と題し、羅房さんが一人の女性として母親として日本で頑張っていること、一人の外国人として困っていること、助けてほしいこととお話されました。日本にいるからこそ分からない外国人の困り事、相手の立場になることで互いに理解し協力できることについて学びました。					
12月15日	第5回	感染症等の病気にかかわる人の人権	鳥取県ハンセン病問題人権学習会講師 前田 寿光さん	一般	18
「ハンセン病を正しく理解しましょう」と題して、ハンセン病にかかわる主な出来事や長島愛生園の様子、自分の失敗談をお話されました。ハンセン病はいずれなくなると言われていますが、コロナ感染症で繰り返されてきた誹謗中傷や差別を目の当たりにして、「ハンセン病問題」は正しく理解し続けなければならないことを学びました。					
1月12日	第6回	刑を終えて出所した人の人権	鳥取県地域生活定着支援センター 相談支援員 竹内 聡さん	一般	53
「地域で共に生きる～再チャレンジできる社会～」と題して、刑務所や犯罪の実態や地域生活定着支援センターについて、刑務所の現状と支援の背景についてお話されました。犯罪者になってしまう背景に生活困窮があり、また、犯罪者になってしまったことで家族や社会から疎外され再犯を繰り返してしまう。再犯に繋がらないよう加害者に対しての支援の必要さを学びました。					

計 330

・令和5年度 相談件数

活動内容	健康	環境	生計費	教育費	援護資金	人権	地域環境	地域組織	その他	計
4月									6	6
5月	3								3	6
6月	2								4	6
7月									2	2
8月								2	3	5
9月	1								18	19
10月								1	15	16
11月									12	12
12月									1	1
1月									3	3
2月									7	7
3月								2	1	3
計	6	0	0	0	0	0	0	5	75	86
前年同期	2	0	0	0	0	2	1	16	57	78
前年比	4	0	0	0	0	▲ 2	▲ 1	▲ 11	18	8

【健康】病気に関すること

【生計】生活費に関すること

【教育費】教育費用に関すること

【人権】人権に関すること

【環境】地域の環境に関するこ

【組織】地域に関すること

【その他】項目に当てはまらないもの
(書類の確認・傾聴・提出物)

令和 5年度 隣保館行事写真



絵本の読み聞かせ会



分かりやすいじんけんの話



おしゃべりサロン



ほくほく食堂

児童館行事自己点検表 （４月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆体験教室「B&G でニュースポーツ！」4月15日（土）13：30～16：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・B&G へ行き、 ◆バグー ◆カローリング ◆ボッチャ の3つのニュースポーツを体験する。	・新しいスポーツを体験し、楽しさを知り、仲間づくりをする。	幼 0 小 6 保 0	A 15 B 1 C 0	・参加者が6名（北条小3名、大栄小3名）と少なかったが、ほとんどの児童が初めて体験するニュースポーツだったので、興味深く取り組みました。 ・バグー、カローリング、ボッチャとも、ちょうどよい強さで思い通りに投げることができたときは、とても嬉しそうでした。3種目とも、形成が一気に逆転する場面もあり、スピード感もあってとても盛り上がりました。	◎

◆体験教室「おにぎりを作って出かけよう！」4月22日（土）12：00～15：30

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・ほくほくプラザでおにぎりを作り、バスに乗って山菜の里に出かけ、おにぎり弁当を食べたり、みんなで遊んだりする。	・食事を自分で作る楽しさやおいしさを知り、進んでお手伝いをしようとする心を養う。 ・北栄町の自然の中で遊び、春を感じてもらう。	幼 2 小 10 中 1 保 2	A 10 B 0 C 0	・ボランティア 2 名の参加がありおにぎり作りから遊びまでお手伝いをいただきました。 ・子どもたちがそれぞれ握ったおにぎりは『塩から〜い！』『味がな〜い！』『美味しい！』などの声が聞こえ楽しい食事となりました。 ・約束が守れず単独行動をしてしまう子がいましたがみんなと一緒に過ごそうと声かけをして見守りました。 ・当日は天気もよく最高の見晴らしでした。山菜の里に来たのが初めての子どももあり今度は家の人と来たいと話す子もいました。北栄町を知るきっかけになったと思います。	◎

児童館行事自己点検表 (5月)

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ○期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
△期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆ボランティア体験教室「コナン通りをきれいにしよう&巨大迷路で遊ぼう！」

5月13日(土) 13:30~16:00

事業内容	目的・効果	参加者(人)	満足度(人)	振り返り	評
・「ポイ捨てゴミはどこへ行く」を視聴し、海を漂うプラスチックゴミの環境問題学習をする。 ・コナン駅周辺・駅から出会いの広場までのコナン通り、米花商店街、出会いの広場の美化作業。 ・美化作業終了後、巨大迷路で遊ばせてもらう。	・子どもの頃から地域の中でボランティアに慣れ親しむ環境を育む。 ・観光客に喜んでもらえるボランティア活動を体験することで、地域を身近かに感じる。 ・SDGsに関連した取り組みを行うことで、次代を担う子どもたちの将来に役立つ取り組みとする。	幼 1 小 7 保 3	A 6 B 2 C 0	・出発前から小雨が降り出しましたが予定通り開催しました。歩道上には目につくゴミはあまりありませんでしたが、歩道の隅や植え込みの中には空き缶やゴミが結構あり、子どもたちは進んで拾っていました。 ・途中で出会った観光客や観光協会の人に「がんばってるね。」「ありがとう。」などと声を掛けられ嬉しそうにしていました。 ・終わりの会では、「ゴミをいっぱい拾えてよかった。」「がんばってきれいにしてよかった。」「またボランティアがしたい。」などという声が聞かれ嬉しかった。	◎

◆体験教室「オリジナルマグカップを作ろう！」5月14日(日) 13:30~16:00

事業内容	目的・効果	参加者(人)	満足度(人)	振り返り	評
・無地のコップに自分の好きな絵を描いて、オーブンレンジで焼き付け、オリジナルマグカップを作る。	・物を作る楽しさや作った物を生活で使う喜びを味わう。 ・完成したマグカップを家族にプレゼントして日頃の感謝を伝える。	幼 1 小 10 保 1	A 7 B 4 C	・小学校の運動会が土曜日にある為、日曜日に開催したが、普段スポ少等で来れない子どもが参加出来て良かった。 ・思ったより低学年が早く描き終え、待っている間にメッセージカードや肩たたき券等を作りました。作業時間は個々に異なりましたが最後まで丁寧に仕上げていた。 ・マグカップは自分用だったり、家族へのプレゼントでしたが「いつもありがとう！」等、感謝の言葉が書いてあり個々の成長を感じた。 ・オーブンで焼きつけの間、おにぎりカード探しやボッチャをしましたが、ルールが簡単で逆転もあるので手軽にみんなで楽しめた。	◎

児童館行事自己点検表 （6月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆工作教室「折り染めでうちわを作ろう！」6月10日（土）13：00～16：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
- 障子紙を折り、折り染めを乾かす。 - うちわにのりをつけ、染めた紙を貼り付けてオリジナルうちわを作る。	物を作る楽しさや作った物を生活で使う喜びを味わう。	幼 1 小 12 保 4	A 11 B 2 C 0	- 折り染めは簡単にでき、きれいな模様が染まるので、毎年してもよいと思いました。 - みんなそれぞれ違うきれいなうちわができ、「きれいな折り染めができてうれしかった。」「うちわをパタパタするのが楽しみです。」など、感想を発表してくれました。この夏、お家で使ってくれと嬉しいです。	◎

◆職場体験教室「スイカの選果場に行こう！」6月25日（日）9：20～11：30

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
北栄町の代表的な特産物「大栄スイカ」の出荷の様子を見学し、農家の人の思いや願いを知る。	大栄スイカがどのように選果され出荷されるのか、新しくなった選果場を見学し、北栄町を誇らしく思う気持ちを育む。	幼 5 小 13 保 5	A 15 B 3 C 0	- 選果場では大改修が行われ最新鋭の機械が導入されました。スイカの数の多さや機械の働きにびっくりした様子で説明して下さる方の話がしっかりと聞けました。 - 見学後、新鮮なスイカを試食で切ってくださいました。とても美味しいスイカで「今まで食べた中で1番美味しい！」と子ども達や保護者さんからも美味しい声が聞きました。 - 反省点、改善点として集合時間に遅れてくる子どもがあり出発が10分程遅れてしまい選果場の方に迷惑をかけてしまった事、選果場内に急な階段が何か所もあり幼児さんは危ないと感じました。参加募集は小学生対象にした方がいいのではないかと思いました。	◎

児童館行事自己点検表 （7月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆たのしい科学あそび「おもりのはたらき」 7月15日（土）13：30～15：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・おもりのはたらきについての科学あそびをする。 ・夏休みの自由研究のテーマの選び方や方法について学ぶ。	・子どもたちの科学する心・考える力・自然に対する豊かな感性を育てる。	幼 2 小 8 保 3	A 9 B 1 C 0	・紙コップ・ガチャガチャカプセル・粘土を使った「おきあがりこぼし」やアルミの針金・粘土を使った「やじろべえ」を作りながら、問題を考え実際に実験をしながら確かめるといってとても楽しい時間になったと思います。 ・幼児から6年生までと年齢差が大きかったですが、それぞれ楽しみながら参加していました。	◎

◆「ほくほく食堂」 7月28日（金）10：00～13：30

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・夏休みの宿題などの学習。 ・SDGsの学習「SDGsってなんだろう？」…地球の環境を守る、食べ残しをへらす。 ・寄付品などで作った昼食を感謝しながら食べる。	・春休みの子どもの孤食対応と居場所づくり、 ・自分の使っている言葉について見直し、みんなが気持ちよく生活できるようにほかほか言葉を使おうとする意欲付けをする。 ・ボランティアによる食事の提供や学習支援、活動を通して人間性や社会性の向上を図る。	小 28 ボラ 中 7 高 2 大 8	A B C	・夏休みに開催する「ほくほく食堂」は2年ぶりでしたが中高生や大人の方合わせて13人のボランティアがあり、宿題タイムや人権学習、また、食事の準備や配膳等、沢山協力していただき開催することが出来て良かった。特に環境問題学習「SDGsってなんだろう？」では、みんなが暮らし続ける地球にする為に、これから自分がやろうと思う事を一人一人真剣に考える時間になった。中高生が短時間でしたが子ども達に声掛けしながら関わっている姿があり良かった。	◎

児童館行事自己点検表 （8月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆お魚教室「地域の生き物を探そう！」8月5日（土）9：00～12：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
北栄町内の田んぼや用水路の魚等を捕まえ、観察して解説していただく。捕まえた魚等、その場所でリリースする。	- 地域の生き物から環境を考え、自然を大切にできる子を育てる。 - 自然体験をすることで、想像力を豊かにし行動力を身につける。	幼 2 小 4 保 6	A 4 B 0 C 0	親子での参加が4組あり一緒に体験ができて楽しんでもらえた。屋外の活動なので安全面や熱中症にも気をつけながら出来た。中前先生のお話や解説など興味深く聞く姿もあり良かった。今回も沢山のレッドデータの生き物が見つかり北栄町の自然の豊かさを再確認することが出来た。	◎

◆自然体験教室「船上山でカヌー体験」8月23日（水）12：30～17：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
船上山少年自然の家に行き、ダム湖でカヌー体験をする。（雨天時は室内でニュースポーツ体験）	自然の中でのカヌー体験を通して、「自然の素晴らしさや自然とのかかわり方」「友だちと協力することの大切さ」を実感する。	小 5 保 1	A 6 B 0 C 0	- ダム湖に向かう途中で雨が降り出したが、予定通りにカヌー体験ができてよかった。 - ほとんどの子が初めての体験だったが、指導員の方に丁寧に指導していただき、カヌーを上手に漕ぐことができて満足そうでした。 - コロナウイルス罹患や諸事情で当日のキャンセルがあり、参加者が少なかったため、保護者の方も含め全員に感想発表をしてもらった。指導員の方にも子どもたちの嬉しさが伝わったと思う。	◎

児童館行事自己点検表 （9月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆自然体験教室「プラネタリウムに行こう！」9月9日（土）13：00～17：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・米子市児童文化センターに行き、プラネタリウムで夜空の学習をする。 ・湊山公園内の「猿ヶ島」「蒸気機関車」などを見学し、遊具広場で遊ぶ。	・天候や周囲の環境に左右されることなく、楽しみながら星や宇宙について学べるプラネタリウムを使って、星取り県の素晴らしい夜空に関心を持つ。	幼 3 小 14 保 4 B 1	A 15 B 1 C 0	・プラネタリウムでは、「ミクロの世界」「今日の星空」について、映像を見ながら解説していただきました。「プラネタリウムがきれいだった。」「星のことがわかった。」「また来てみたい」など、関心を持った子もいました。 ・プラネタリウム鑑賞後は、すぐ近くの遊具広場で、猿ヶ島や蒸気機関車の見学、遊具を使っての遊びなどをしました。親子で、友だちと、ボランティアさんと一緒に楽しそうに遊ぶ姿が見られました。	◎

◆創作教室「牛乳パックで灯ろうを作ろう！」9月16日（土）13：30～15：30

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・牛乳パックに色を付けたり、切り絵を貼ったりして筒状にし、その中にライトを入れる。	・ものづくりの楽しさや作ったものを生活で使う喜びを味わう。 ・豊かな創造力と自由な感性を育む。	幼 小 4 保 1	A 3 B 1 C	・牛乳パックの印刷面をはがして和紙風の風合いを生かした灯ろうを作りました。 ・はがし具合や色の使い方、折り紙の貼りで灯りの通り方が違って面白いよ！と説明すると保護者さんが一生懸命印刷面を薄くはがして子どもさんに「すご～い！」と喜ばれていました。 ・部屋を暗くして灯ろうにライトを入れるととてもきれいで工夫たっぷりの灯ろうができました。 ・少ない人数でしたがじっくり取り組めた事が子どもたちはよかったと感想を発表してくれました。	○

児童館行事自己点検表 （10月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆体験教室「避難所体験&非常食を作っちゃおう！」10月14日（土）13：30～15：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・災害時、避難所で使用するパーテーションやベッド等、防災グッズの体験と非常食を作り試食する。	・避難所体験や非常食を知る事で災害時の安全な行動についてまなぶ	幼 3 小 7 保 1	A 9 B 0 C 0	・パーテーションやベッド等、防災用具は初めて体験する子が多く興味津々で楽しく学べた。 ・非常食はアルファーマー米でお湯を入れ15分待つとご飯になる物を一人ずつ作り試食。また、新聞スリッパを作ったり非常持ち出し袋の中を確認したりと防災について沢山の事を知り、学ぶ貴重な体験が出来た。	◎

◆創作教室「勾玉ってなんだろう！」10月21日（土）13：30～15：30

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・古墳などから出土する勾玉の話を聞き、高ろう石を使った勾玉づくりを体験する。	・勾玉の由来を知り、物を作る楽しさや、作ったものを生活で使う喜びを味わう。	幼 1 小 10 保 4	A 11 B 0 C 0	・講師の門脇先生の手作り資料を使って、勾玉について楽しく話をして下さり、みんなが勾玉づくりに興味をもったようでした。作業は単調ですが、満足できる勾玉を作ろうと集中して作業していました。 ・保護者や講師の先生に「上手にできたね。」と褒められ嬉しそうでした。 ・みんなが時間内に完成し、片付けもみんな協力してできました。	◎

児童館行事自己点検表 （１１月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆職場体験教室「TCC でアナウンサー体験をしよう！」 11月4日（土）13：30～16：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・TCC 社屋見学 ・スタジオでアナウンサー体験学習	・いつも見ているテレビの職場を見学しアナウンサー体験をすることで、仕事の工夫などを知り、親しみを持つ。	幼 0 小 7 保 0	A 7 B 0 C 0	・アナウンサーに興味のある子ばかりでTCCの方のお話を聞く姿勢はもちろんアナウンサー体験では真剣そのものでした。 ・質問タイムでは時間いっぱい沢山の質問に答えてくださり子どもたちも色々な事が知れたと思います。 ・アンケートでも「将来の夢はアナウンサー」と書いてあり今回の体験が夢への一歩となれば嬉しです。	◎

◆木工教室「作って遊ぼう！木製キューブパズル」 11月19日（日）13：30～15：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・27個の立方体を接着して7つのパーツを作る ・パーツを組み合わせて一つの大きな立方体を作って遊ぶ。	・物を作る楽しさや達成感を味わう。 ・豊かな創造力と自由な感性を育てる。	幼 2 小 5 保 3	A 5 B 1 C 1	・パーツを作る際、ボンドを付ける箇所を間違えないように大きな積み木を使って確認しながら一つずつ作った。 ・ボンドが乾いてボス力で色を付ける子、試行錯誤しながら何度もパーツを組み合わせ立方体が完成すると嬉しそうに達成感を味わっていた。 ・幼児さんもお父さんが見守る中、一生懸命作り、完成させていた。 ・作業時間は個々に異なりましたが、最後まで丁寧に仕上げていた。	◎

児童館行事自己点検表 （１２月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆「ほくほく食堂」12月2日（土）9：30～15：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・体験学習「うどん作り」 ・人権学習①「言葉の学習」②「手話の学習」 ・寄付品などで作った昼食を感謝しながら食べる。	・子どもの孤食対応と居場所作り。 ・ボランティアによる食事の提供や学習支援、活動を通して人間性や社会性を図る。	幼 小 16 中 4 大 2	A B C	・当日1人キャンセルでしたが小学生16人ボランティア(中4人 大1人)の参加でした。 ・うどん作りから始め、人権学習「言葉の学習」ありがとうは魔法の言葉と「手話の学習」挨拶など簡単な手話と会話で大切なことを学んだ。クイズ形式で低学年にもとても分かり易く、振り返りも出来た。 ・中学生のボランティアの子が声掛けや、まとめ役してくれたり進んで動く姿あり大活躍でした。 ・今回9時半スタートで開催し終わり時間も15時でしたが片付けもスムーズで予定より早く終わった。	◎

◆体験教室「スノーボールクッキーとココアラテを作ろう！」12月16日（土）13：30～16：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・小さい丸いクッキーを焼き、仕上げて粉砂糖をまぶして降ってきた雪のように「雪の球」のようなお菓子を作る。 ・ココアラテを作り、みんなでお茶タイムをする。	・「お菓子を作る」という楽しい体験を通して豊かな創造力を高める。 ・作業していく上でコミュニケーション能力を高める。 ・季節のお菓子を味わう。	小 12 中 1	A 11 B 2 C 0	・3人組を4班作り活動しました。 ・クッキーが焦げてしまった班もありましたが失敗も経験…なんてかなあ～と子どもたちにも問いかけ、大きさを一緒にする事や並べたときのクッキー同士の間隔の広げ方などいろいろな事に注意しながら焼き上げました。 ・ココアラテでは、フォームミルクにココアでネコやハート型を描き楽しみました。 ・中学生ボランティアさんが1名参加してくれて、材料の計量から子どもたちの洗い物のサポート、片付けまで沢山のお手伝いをしてくれました。 ・作ったものを皆で頂きました。子どもたちの「おいしい！」が聞けてとても嬉しく思いました。	◎

児童館行事自己点検表 （１月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆工作教室「ダンボールで何作ろう！」 1月13日（土）13：30～15：30

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・ダンボールの特性を生かし、友だちと協力して船や家などを作って遊ぶ。	・友だちと協力してものを作る楽しさや作ったものを使って遊ぶ喜びを味わう。	幼 1 小 12 保 2	A 11 B 2 C	・初めに、家・船・ロボットなどの先回作った作品を見ながら、自分の作りたいもののイメージ作りをしました。「難しいところは大人にSOSを出してね。」と伝えましたが、あまりSOSを出す子もなくみんな一生懸命に取り組んでいた。 ・親子の参加が2組ありました。お母さんに手伝ってもらいながら、楽しそうに作っていました。完成したお家に入って寝転んだり、窓からのぞいたりして楽しそうでした。 ・親子で一つの作品を作る体験ができて良かったです。 ・「友だちと作るのが楽しかった。」「持って帰って家でも遊びたい。」など、満足した感想が聞かれました。	◎

◆体験教室「チョコレートパイ♡とチョコスムージー作り」 1月20日（土）13：30～16：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・餃子の皮でチョコレート・マシュマロを挟み、オーブンで焼いてパイを作る。 ・牛乳・チョコレートアイスにミキサーにかけてスムージーを作り、生クリームとカラフルチョコでトッピングする。	・「お菓子を作る」という楽しい体験を通して、豊かな創造力を育む。 ・季節のイベントを楽しみ、家族のお家時間に繋げる。	小 11 保 1	A 11 B 0 C 0	・チョコパイは2枚の餃子の皮にマシュマロとチョコレートを挟みオーブンで焼くだけの簡単なお菓子ですが、餃子の皮をハート型に切ったりふちをフォークでおさえてとめる作業は子どもたちそれぞれの個性がでる工程でした。 ・スムージー作りでは、材料の計量・ミキサーの使い方などを説明し、班ごとに体験しました。ホイップクリームにカラフルチョコをふりかけおしゃれに仕上がりました。 ・皆で作ったものをいただきましたが、「おいし〜」の顔が最高でした。幸せなおいしい時間をお家からでもまた味わってほしいです。	◎

児童館行事自己点検表 （2月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆体験教室「恵方巻を作ろう！」2月3日（土）13：30～16：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・節分や恵方巻について伝え、参加者で協力し、簡単な恵方巻を作り食べる。 ・節分の豆を箸でつまみリレー形式で競う。	・季節の行事を行う事で、日本の伝統文化を伝え感じてもらう。 ・学んだことを家庭で役立て、家族らに喜んでもらう。	幼 3 小 9 保 1 B 1	A 9 B 2 C 0	・4人組を3班づくり活動をしました。 ・海苔を縦半分に切り、ハーフサイズのツナマヨサラダ巻きを作った。 ・ホットプレートで一人ずつ薄焼き卵を焼く体験も、安全面に気を付けながら行えた。 ・海苔の上にご飯を平らにする際、入れすぎて太巻きになり淵からご飯がはみ出す子もいたが、「なんでかなあー」と問いかけると「入れすぎちゃった!」と答えてました。 ・節分や恵方の由来について伝え、東北東を向いて食べる時は「うまーい」と「笑顔でした。 ・紙箱に入っている豆を箸でつまみ隣の紙箱に入れていくゲームをリレー形式で行ったが班で協力しながらできた。	◎

◆職場体験教室「ヒラメの養殖場へ行こう！」2月24日（土）13：30～16：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・ヒラメの養殖場の見学 ・エサやりなどの職場体験	・鳥取県の漁業の取り組みと努力を知る。 ・養殖場での体験活動を通して、普段縁遠い漁業に親しみと関心を持つ。	幼 5 小 17 保 8 教育長	A 13 B 7 C 0	・北条小でもバスの乗降ができるようにしたためか、北条地区の参加が21人あった。 ・生き物に関心がある子が多く参加しており、興味深く参加していました。 ・いろいろな職業体験を通して、どの仕事も大切で、努力と工夫で発展してきたことを学んでもらえたら嬉しいです。	◎

児童館行事自己点検表 （3月）

[参加者] 幼：幼児 小：小学生 中：中学生 高：高校生 保：保護者 B：ボランティア

[満足度] A：とても楽しかった B：まあまあ楽しかった C：楽しくなかった

[評] 自己採点 ◎期待される効果を大幅に上回る ○期待される効果の通り
 △期待される効果をやや下回る ×期待される効果がでなかった

◆ほくほく食堂 3月23日（土）9：30～14：00

事業内容	目的・効果	参加者（人）	満足度（人）	振り返り	評
・春休みの宿題 ・人権学習 「ランドセルは海を越えて」 ：おなか元気教室 ・ちらしずし作り ・寄付品などで作った昼食を感謝しながら食べる。 ・みんなで片付け	・子どもの孤食対応と居場所作り。 ・ボランティアによる食事の提供や学習支援、活動を通して人間性や社会性を図る。	小 15 中 7 B 3 他 4	A B C	・「ランドセルは海を越えて」のお話やヤクルトさんの「おなか元気教室」のお話もしっかり聞いて真剣に取り組めた。 ・宿題の時、中学生が積極的に小学生に関わる姿や人権学習でも「考えよう世界の10人の子ども達」の紹介等、各場面で中学生が大活躍でした。 ・ちらし寿司作りはグループで協力する姿や一人ずつカップに工夫しながら盛り付け「おいしいー！」と笑顔でした。 ・班ごとに食事の片付けから各場所の片付けまで行ったが段取り良く出来た。 ・北条小の参加が無かったので声掛けや送迎の事を「スマイル通信」に掲載、また土曜日はスポ少等ある為、平日に行うよう改善していきたい。	◎

令和5年度 児童館行事写真



令和5年度 年代層・月別利用者数

ほくほくボランティア登録状況（R6.3.31現在）

[illegible]

(2) 令和6年度事業計画

(ア) 隣保館事業

令和6年度隣保館事業計画

領域	事業名	対象者	事業内容	実施頻度	備考
交流	おしゃべりサロン	一般向け	軽食の提供、見守り、高齢者・ひとり暮らしの方の交流	毎月1回	楽しめる企画と共に開催
	訪問	町全域	事業ちらしの直接配布、安否確認	随時	ほくほくプラザ及び旧北条文化会館周辺地域を拠点に実施
	絵本の読み聞かせ会	幼児とその保護者	絵本の読み聞かせ	毎月1回 (第2日曜日)	絵本の読み聞かせも実施 ※小学生ボランティアあり
	各種教室	小学生～成人	習字	習字：月2回	
人権教育	ワークショップ	一般向け	ワークショップ方式	必要に応じ	
	研修・学習等	すべて	人権に関わる学習・交流	必要に応じ	現地研修 中3交流会 他
	学習支援	子ども向け	基本的学習習慣の定着を推進	随時	
人権啓発	講演会	一般向け	分かりやすいじんけんの話 ※町計画15の人権分野でテーマ設定	年6回	30人/回を想定、実施場所は適宜移動する
青少年育成	ビデオ上映	PTA・各種団体向け	必要なテーマ	必要に応じ	現地研修（教員）・PTA・自治会・保護者会・事業所研修など
	団体支援	PTA・各種団体向け	子どもに関わる団体などのサポート	必要に応じ	生涯学習出前講座など
広報	広報誌作成	一般向け	ほくほくプラザだよりの全戸配布	毎月1回	
	ホームページ	一般向け	事業紹介等	随時	
施設	貸館	一般向け	貸館	必要に応じ	
	相談	一般向け	人権、生活上の相談	必要に応じ	

定期開催

実施日	事業名	参加者
毎月1回	避難訓練	

令和6年度 分かりやすいじんけんの話(案)

【方針】

「北栄町人権を尊重するまちづくり推進計画」の15人権分野を5年以内にすべて実施する。(2年目)

【5月】社員が人権を尊重し、互いに個性や人格を大切にすることが信頼関係を築き、企業全体で差別のない職場環境づくりとその維持につながるよう、職場における人権問題について講演・啓発を行う。

【6月】インターネット、スマートフォンの普及により、ネット関連の被害が多発。ネットトラブル・依存症・いじめ問題などネット社会の危険性を学ぶ。

【7月】同和問題を自分の問題として考えられる講演・啓発を行う。講演形式以外の形式(弾き語り、漫才など)にすることで、小中学校保護者など若い世代の参加増が見込まれる。また、音楽を通し心で感じる人権学習として広く周知されつつあるため毎年開催している。

【9月/10月】セクシュアルマイノリティかどうかに関わらず、一人ひとりが違うということ、そして、すべての人が自分らしく生きていくためにまずは知ることを目的として町内2つの中学校で開催し、生徒と保護者・町民が同じテーマで共に学ぶ。

【11月】障害の有無、年齢や性別、国籍や民族などにかかわらず、誰もが等しく使いやすいように、安全で便利な都市や建物、製品や道具を設計(デザイン)するUDの理念を理解し、思いやりあふれるまちづくりを推進する。

【12月】誰もがやりがいや充実感を感じながら働き、仕事上の責任を果たす一方、私生活においても健康で豊かな生活ができるよう社会全体で調和をとることにより、男女とも生きがいを感じながら毎日が充実する大切さを学ぶ講演・啓発を行う。

実施月	対 象	テ ー マ	講 師	報 償 費
5月17日	大人	⑤様々な人権(職場における人権)	鈴木 直子	15,000円/県内
6月21日	大人	⑬インターネットにおける人権	寺崎 豪	無料
7月28日	大人	①同和問題(部落差別)	太田 遊人	100,000円/県外
①9月20日 ②10月16日	大人	⑩性的マイノリティの人権	ひみつち〜にじつと〜 竹田 結輝・藤田 聖玲菜	130,000円/県外
11月15日	大人	⑭ユニバーサルデザインの推進	石田 重幸	15,000円/県内
12月13日	大人	③男女共同参画に関する人権	山下 千之	12,000円/中部

「北栄町人権を尊重するまちづくり推進計画」人権分野		H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
		1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	1年目	2年目
①同和問題(部落差別)		●	●	●	●	●	●	●
②障がいのある人の人権		●				●		
③男女共同参画に関する人権				●				●
④子どもの人権		●				●		
⑤高齢者の人権		●					●	
⑥外国人の人権			●				●	
⑦感染症等の病気にかかわる人の人権		●					●	
⑧刑を終えて出所した人の人権			●				●	
⑨犯罪被害者等の人権				●	●			
⑩性的マイノリティの人権		●	●	●	●	●	●	●
⑪生活困窮者の人権						●		
⑫個人のプライバシーに関する人権						●		
⑬インターネットにおける人権					●			●
⑭ユニバーサルデザインの推進				●				●
⑮人権ま問題まな	・アイヌの人々							
	・ひきこもりの状態にある人の人権			●				
	・北朝鮮当局によって拉致された被害者等		●					
	・職場における人権		●					●
	・災害被害者等				●			
★SDGsの推進					●			

SDGsは、「誰一人取り残さない社会」の実現に向け、17のゴールの達成をめざしています。

(イ) 児童館事業

令和6年度 児童館事業計画（案）

ほくほくプラザ（児童館）では人権尊重を基本とし、児童健全育成と資質向上を目的とした事業を展開する。
また、子ども会他の地域組織活動の育成の支援を行う。

主な内容・安全で健全な遊びの場の提供

- ・季節行事や体験活動等の実施による情操育成
- ・人を大切にし互いに思いやる心の育成
- ・将来に向け必要な力と地域への親しみ・愛着を地域と共に育む

実施月	事業名	目的	事業内容	効果	SDGs 番号
4月20日	体験教室「おにぎりを 作って出かけよう」	野外の活動を通して親睦を 深め自然の豊かさを知る。	おにぎりを作りレークサイド に出かけ自然を楽しみながら 食事をする。	野外活動の楽しさを知る。	4.11 15
4月27日	職場体験「消防署へ行 こう」	私たちの暮らしを守ってく れている消防署の仕事を知 り、体験する。	消防署へ出かけ、署内の消防 車救急車の見学をする	消防士さんのおかげで生活が 守られていることを知る。	4.11
5月11日	ボランティア体験教室 「コナン通りをきれい にしよう&巨大迷路で 遊ぼう」	ボランティアに慣れ親し む。体験を通して地域を身 近に感じる。	コナン駅周辺・コナン通り・ 米花商店街の美化活動後、迷 路で遊ぶ。	地域に奉仕する心を育てる。	4.11 15.17
5月12日	創作教室「お花で感謝 を伝えよう！」	大切な人に感謝の気持ちを 伝える。	季節の花でアレンジメント体 験をする。	想像力・表現力を養う。	4.11
6月	職場体験教室「スイカ の選果場へ行こう」	地域の特産物を知る。	大栄西瓜がどのように選果さ れ出荷されるのか見学する。	農業の大変さを知るとともに 北栄町を誇らしく思う気持ち を育む。	4.11
	創作教室「折染め体 験」	物を作る楽しさや、作った 物を生活で使う喜びを味わ う。	障子紙を折り染料で染め模様 を楽しむ。	想像力や表現力を養う。	4.11
7月	ほくほく食堂	個食を防ぐ。居場所づく り。	みんなで食事、遊び、学びを する。	豊かな人間性と社会の向上を 図る。	4.11
8月	体験教室「ニュース スポーツ」	地域の方との交流を深め る。	高齢者の方とニュースポーツ を楽しむ。	お年寄りを大事にする心を育 む。	4.11 15
	自然体験教室「お魚教 室」	北栄町の川の生態系を知 る。	川に入り魚を捕まえて観察す る。	川を綺麗にする意識を持つ。	4.11 14
9月	親子体験教室「サバイ バル飯炊き」	野外の活動を通して親睦を 深め自然の豊かさを知る。	空き缶と牛乳パックで野外炊 飯をする。	野外活動の楽しさを知る。	4.11 15
	職場体験教室「梨の選 果場へ行こう」	地域の特産物を知る。	梨がどのように選果され出荷 されるのか見学する。	農業の大変さを知る。	4.11
10月	親子自然教室「星を見 る会」	星取県の夜空を観察し自然 の豊かさ学ぶ。	野外で天体望遠鏡を使って観 察、星の説明を聞く。	星に興味を持ち自県のすばら しさに気づく。	4.11 15
	創作教室「竹灯ろう作 り」	物を作る楽しさや、作った 物を生活で使う喜びを味わ う。	竹に飾り穴をあけて灯ろうを 作る。	想像力や表現力を養う。	4.11
11月	創作教室「勾玉作り」	勾玉の由来を知り物を作る 楽しさを味わう。	勾玉の説明を聞き高ろう石を 使った勾玉を作る。	想像力や表現力を養う。	4.11
	体験教室 「発掘体験」	化石はどのように出てくる のか昔の人の暮らしを知 る。	妻木晩田遺跡で発掘体験をす る。	教養を養う。	4.11

12月	親子体験教室 「クリスマスケーキ作り」	調理を学び、季節の行事を楽しむ。	親子でクリスマスケーキを作る。	親子で食を育む。	4.11
	体験教室「お餅つき」	地域の方との交流を深める。	高齢者の方と一緒に餅つきを体験する。	お年寄りを大事にする心を育む。	4.11
1月	体験教室「正月遊び」	日本の伝承遊びを楽しむ。	昔ながらの遊びを楽しむ。	協調性を養う。	4.11
	体験教室「恵方巻作り」	調理を学び、季節の行事を楽しむ。	由来を伝え恵方巻を作る。	調理に興味を持ち、協調性を養う。	4.11
2月	体験教室「バレンタインお菓子作り」	調理を学び、季節の行事を楽しむ。	チョコレートを使用したお菓子作りをする。	調理に興味を持ち、協調性を養う。	4.11
	体験教室「建前体験&木工工作」	物を作る楽しさや、作った物を生活で使う喜びを味わう。	椅子、踏み台を作る。	想像力・表現力を養う。	4.11
3月	ほくほく食堂	個食を防ぐ。居場所づくり。	みんなで食事、遊び、学びをする。	豊かな人間性と社会の向上を図る。	4.11

領域	事業名	対象者	事業内容	実施頻度	SDGs 番号
交流	親子会・子ども会 サポート出前講座	幼児～小学生とその保護者	親子会・子ども会に読み聞かせ会やレクリエーションなどの出前講座に出向き、交流	随時	4.11 17

SDGs

